

# Mémoires 2014

スプリンターズS



第48回スプリンターズS(GI)優勝馬 スノードラゴン

## 越後路に躍る芦毛の馬体

### スノードラゴン

Snow Dragon

秋のGIロードの開幕を告げる電撃戦、スプリンターズS。2014年は中山競馬場のスタンド改修工事の影響で、12年ぶりに新潟競馬場での開催となった。

中山と違って直線に坂がなく、しかも内回りを使用する新潟の芝1200m。いきおい先行馬への期待は大きく、逆に追い込み馬への評価は厳しくなる。前回、新潟で行われた2002年の勝ち馬ビリーヴも、3番手から抜け出し、前2頭との競り合いを制しての勝利だった。今回もやはり、先行馬が有利なのでは……。

快足逃げ馬ハクサンムーンの1番人気には、恐らくそんなファン心理も反映されていた。人気は続いてストレイトガール、コパノリチャード。それぞれ高松宮記念3、1着という実績もあることながら、センス溢れる自在性やパワフルな先行力という武器が、この舞台に合うと判断された結果ともいえた。

一方、高松宮記念で粘り強く追い込んで2着に入ったスノードラゴンは13番人気にとどまった。戦績はダート中心で、脚質も差しタイプ。あの2着は不良馬場が味方したもので、新潟の良馬場では苦しい。そういった声が聞こえてきそうだった。

しかしスノードラゴンは、そんな低評価を覆す素晴らしい走りを見せる。ハクサンムーンを制してダッシャーゴーゴーが逃げたレースは、息の入らない厳しい流れに。大外枠から中団でじっくり脚をためたスノードラゴンは、4コーナーで外に出されると力強い末脚を發揮する。明らかに1頭だけ異なる脚色で、内で必死に競り合う各馬をまとめて交わしてゴール。重賞初制覇どころか、芝の初勝利がGIという離れ業を演じた。また大野拓弥騎手もデビュー10年目、高木登調教師も開業8年目でのGI初勝利となつた。

スノードラゴンの父は12年前、この新潟でビリーヴに最後まで食い下がったものの、半馬身差2着に敗れたアドマイヤコジーン。そんなささやかな因縁も華を添えた、叩き上げの6歳馬による戴冠だった。



#### 第48回スプリンターズS(GI)

10/5 新潟競馬場 1200m(芝・左) 小雨・良 18頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	スノードラゴン	牡6	57	大野拓弥	高木 登	1:08.8	⑯	11/10
2	ストレイトガール	牝5	55	岩田康誠	藤原英昭	1/2	②	9/10
3	レッドオーヴァル	牝4	55	田辺裕信	安田隆行	アタマ	⑤	5/5
4	グランプリボス	牡6	57	三浦皇成	矢作芳人	アタマ	④	4/3
5	ベルカント	牝3	53	武 豊	角田晃一	ハナ	⑩	3/3
6	アフォード	牡6	57	蛯名正義	北出成人	1/2	⑯	11/13
7	セイコーライコウ	牡7	57	柴田善臣	鈴木康弘	クビ	⑨	7/6
8	マヤノリュウジン	牡7	57	池添謙一	庄野靖志	1/2	⑥	17/17
9	マジンプロスパー	牡7	57	小牧 太	中尾秀正	ハナ	⑭	5/6
10	サンカルロ	牡8	57	吉田 豊	大久保洋吉	クビ	⑰	18/17
11	ローブティサージュ	牝4	55	秋山真一郎	須貝尚介	アタマ	⑦	9/8
12	コパノリチャード	牡4	57	浜中 俊	宮 徹	1/2	③	14/13
13	ハクサンムーン	牡5	57	戸崎圭太	西園正都	ハナ	①	2/2
14	トホウアマポーラ	牝5	55	幸 英明	高橋 亮	クビ	⑪	7/8
15	アースソニック	牡5	57	石橋 脩	中竹和也	1/2	⑯	14/13
16	ガルボ	牡7	57	津村明秀	清水英克	アタマ	⑫	11/10
17	ハナズゴール	牝5	55	D.ペロヴィッチ	加藤和宏	1 3/4	⑧	14/13
18	ダッシャーゴーゴー	牡7	57	勝浦正樹	安田隆行	3/4	⑯	11/11

単勝⑯4,650円 複勝⑯650円 ⑯170円 ⑯380円 枠連(5-8)2,260円  
馬連⑯-⑯7,360円 馬単⑯-⑯26,040円 ワイド⑯-⑯1,790円 ⑯-⑯4,370円 ⑯-⑯860円  
3連複⑯-⑯-⑯19,580円 3連単⑯-⑯-⑯190,930円

ハロンタイム 11.9-10.5-11.3-11.9-11.3-11.9

通過タイム 600m 33.7-800m 45.6-1000m 56.9

優勝馬 スノードラゴン

2008.4.6生 父アドマイヤコジーン 母マイネカブリース 母の父タヤスツヨシ  
新冠・イワミ牧場生産 馬主:岡田牧雄氏